

## ■ **ホット**な夏に**ホット**なミュージック！うおずみは音楽の都**ウィーン**？



ベートーヴェン、モーツァルト、バッハ、シューベルト…多くの名音楽家が目指した、そして活躍した「音楽の都」。それはウィーンです。

さて、この7~8月上旬にかけて、我がうおずみは多くの音楽ボランティアさんの来訪を受け、音楽の都となりました！

まず先陣を切って、ハーモニカ・アンサンブル「ポレポレ」のクインテットが登場！メンバーには、なんと御年91歳のウクレレ奏者がいらっしゃいます。外見もその演奏内容も、とても90代には見えない恐るべきパワフルさが秘められていて、アンサンブルを引き締めていました。

同じ週の7月14日(金)は、毎年1回のあかねが丘学園大正琴クラブ、猛暑真っ只中の8月4日(金)には魚住東中吹奏楽部。どちらの団体も熱心に練習を積まれた成果が見え、美しいハーモニと温かい人情味があふれ出た、夏の応援歌となる演奏でした。皆様、有難うございました。



## ■ **街のほっと**ステーション発！**たこ焼き**が焼き上がり、**心もホット**に



関西人がホッとする食べ物。それは何でしょう？お好み焼き？串カツ？それとも豚まん？いずれも大阪名物ですが、がっつり食べるにも小腹が空いた時のおやつにもイケる万能選手！やっぱりたこ焼きです。それに、明石はタコの名産地。真夏に突入した7月19日(水)の昼下がりには、食べない理由はありません。「夏バテ気味でおやつもいらない」？そんな方はどなたもいませんでしたよ。粉も鉄板の準備も整い、いざ焼くぞ！という時。何？千枚通しが無い？でもダイジョブ。代わりの道具でどんどん焼いていきます。表面サクサク、中身はふっくら、そしてアツアツ。旨いたこ焼きが出来上がりました。道頓堀に投げ捨てられたカーネル・サンダース人形もビックリの本格派。フーフー息をかけながら、青のりを飛ばしながら、笑顔笑顔のデイサービスでした。





ヒンドゥー語で「挽肉」を意味する「キーマ」。カレーの本場インドでは宗教的な食の禁忌により、羊や山羊、もしくは鶏肉を使ったものが主流です。一方、我が国で初めて鶏肉を使ったキーマカレーを出したのは、1954年に東京で創業したインド料理店の草分け「アジャンタ」といわれています。以外にも古くから親しまれているのです

ね。夏野菜カレーなどは大きな具が特徴ですが、こちらは野菜もみじん切り。ミートスパゲッティーのような外観です。冷房の効いた食堂でスパイシーなカレーを食すのも、いいものですね。



## メニュー カミングス〜

- 8/10 《涼やかに》 冷麺(冷やし中華)
  - 22 《夏祭り気分で!》 焼きそば
  - 30 《ご当地フェア・沖縄》 タコライス、  
ゴーヤチャンプルー、  
フルーツ・ムース  
(パイン)
- 他にも豪華メニュー目白押し!  
どうぞ期待!!



## スタッフ 敬珠つばき

108

6月中頃から、デイサービスのスタッフで看護師として勤務しております。  
誕生日 ✦ 7月25日で、残り5年は働けると…  
血液型 ✦ O型



## 看護師 山口 幸美

ひとこと ✦  
前回までは老人ホーム(有料)で数年働きましたが、一年近く休職していました。デイサービスでの仕事は初めてです。笑顔で楽しく利用者様が一日を過ごしていただければと思っています。

## うおずみ 春夏秋冬 インフォメーション

- 先々月・先月に続き、認定証等ご持参のお願いです。
- 「介護保険負担限度額認定証」(有効期限7月末)
- ・明石市・加古川市の方 → 7月末に届きます
- ・神戸市の方 → 8月中旬に届きます
- ※更新申請されなければ発行されません。お忘れなく!



◎暑中見舞い(ペン習字)



▲見事なひまわりに、うっとり

### ◆ ◆ ◆ これからのうおずみ ◆ ◆ ◆

- 8月9日(水) 《 明石学園 おはなし会 》 13:45~(地)
- 16日(水) 《 日本理美容福祉協会 》 訪問理美容サービス
- 18日(金) 《 うおずみシネマクラブ 》 13:30~(地)
- 9月4日(月) 《 青葉台混声合唱団 》 13:45~(地)
- 15日(金) 《 敬老会 》 13:45~(地)
- ※事務所、デイサービスともに盆休みはありません!



魚住東中吹奏楽部に何度となくコンサートを開催していただいています。見るたびに部活って本当にいいものですね(水野晴郎風)と思います。最近では、部の規律や練習の厳しさが緩くなる傾向が見え、もてあまして街をブラブラとする中高生をよく見かけます。が、東中生の眼差しは、純であどけなさの残る、青春ど真ん中と表現するにピッタリです。多くの仲間と音を合わせる中で、深い友情が生まれていくのでしょうか。そんな子供たちが夏の読書感想文を書くなら、重松清著「赤ヘル 1975年」。是非こちらを読んでほしいと思います。主人公である中学生が深めていく絆がメインテーマですが、プロ野球黄金世代である 40~50 歳代のお父さんが泣いて喜ぶ名プレイヤーたちの登場にも熱くなります。お勧めですよ。

## 編集後記

- ▲早くも!恒例の、ノロウィルス勉強会(7/13)
- ▼七夕の短冊に願いをこめて(7/7、デイサービス)



備えあれば 憂いなし!



願いがかなえたいまえ!